



湘南しんきん

ディスクロージャー

～ 街にいい風～

おかげさまで100周年
SHONAN
湘南しんきん 誕生35周年



ごあいさつ

2023年度の日本経済は、コロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻す中、賃上げマインドや企業の投資意欲が高まるなど、経済全体では前向きな動きがみられました。一方で、大手企業の業況や収益の改善が続いているものの、中小・零細企業にとっては、賃上げや安定した雇用の確保、設備投資の増加などの実現には道半ばの状況が続いています。

金融市場では、日経平均株価が4月に28,000円台からスタートし、海外投資家を中心に円安を背景とした割安感などから日本株への再評価が強まったこと、国内企業の構造改革期待やインバウンド需要による国内経済の後押し、緩和的な金融政策の継続見通しなどを材料に上昇基調となり12月は33,000円台で着地しました。2月22日には史上最高値を更新する39,098円を記録し、3月は40,000円台まで上昇しました。

このような状況下、当金庫は地域に根差す金融機関として資源価格高騰や人手不足等によって多大な影響を受けている地域の事業者にしっかり寄り添い、資金繰り支援をはじめ、販路拡大や事業転換といった本業支援に積極的に取り組むとともに、新たな地域経済の担い手を創出するべく創業支援にも力を注いでまいりました。また、個人のお客さまに対しては、住宅購入や資産形成、相続などのライフステージに応じた、商品・サービスの提供に努めてまいりました。

その結果、2024年3月末は、預金積金が1兆3,031億円、貸出金が7,656億円といずれも過去最高残高を更新しました。また、2023年度の決算は、業務純益36億円、当期純利益26億円を計上し、増収増益となりました。皆さまから賜りましたご支援に厚くお礼申し上げます。

当金庫は2024年3月に創立100周年を迎えました。これもひとえに地域の皆さまの永年にわたる温かいお力添えの賜物であり、役職員一同、心より感謝申し上げます。記念すべき創立100周年を大きな節目とし、今一度、信用金庫の原点に立ち返り、地域との絆を深める活動を重ねてまいります。これからも地域の皆さまから必要とされる信用金庫であり続けられるよう、感謝を胸に新たな一歩を踏み出し、一段の努力を尽くしてまいります。

地域と共生し続ける「湘南しんきん」へのご理解をより一層深めていただくために本ディスクロージャー誌を作成しました。ご高覧いただき少しでも、当金庫を身近に感じていただけましたら幸いです。

2024年7月

湘南信用金庫

理事長 鷺尾 精一



2023年度決算概況

当金庫の2023年度における決算概況をご説明します。

預金積金は、個人預金、法人預金ともに増加し、前期末比241億円増加の1兆3,031億円となりました。貸出金は、保証協会付等の事業性融資、地域のお客さま向けのフリーローン等に注力し、前期末比196億円増加の7,656億円となり、いずれも過去最高残高を更新しました。

収益は、貸出金利息が貸出金の残高増加と利回上昇の結果、前期比7億45百万円増加の128億77百万円となりました。余剰資金運用利息は、資金の効率的な運用を行い、同2億18百万円増加の17億70百万円となりました。以上の結果、業務収益は同9億55百万円増加の166億44百万円となりました。

一方、費用は、預金利息が利回りの低下に伴い、前期比28百万円減少の2億98百万円となりました。また、国債等債券売却損は、市場金利上昇による評価損拡大への予防と保有債券のメンテナンスを目的として債券を売却した結果、同47百万円増加の8億85百万円となりました。経費は、物件費が85百万円減少したものの、人件費が給与改定等により、1億9百万円増加したことから、税金を含めた経費全体で同45百万円増加の100億63百万円となりました。以上の結果、業務費用は同6億82百万円増加の129億76百万円となりました。

これにより、業務純益は前期比2億72百万円増加の36億68百万円、コア業務純益は同9億40百万円増加の49億26百万円となりました。また、当期純利益は同10億1百万円増加の26億32百万円となりました。

DATA

- 常勤従業員数：688人
- 店舗数：47店舗
- ローンセンター：2カ所
- 店舗外ATM：27カ所
(2024年3月31日現在)

INDEX

ごあいさつ	
2023年度決算概況	1
経営理念	2
業績ハイライト2023	4
トピックス	6
地域活性化への取組み	8
文化的・社会的な地域貢献活動	9
地域密着型金融の取組状況	10
「経営者保証に関するガイドライン」への取組み	12
湘南信用金庫は、創立100周年を迎えました	13
総代会	14
内部管理態勢、リスク管理態勢	16
法令等遵守態勢、マネロン・テロ資金 供与対策に係る態勢整備、顧客保護等 管理態勢、金融ADR制度への対応	18
組織	19
経営体制	20
湘南しんきんのあゆみ	21
事業内容・信用金庫と銀行との違い	22
主な手数料	23
店舗一覧	24

- 本資料に掲載されている計数は、特に表示のない限り、単位未満を切り捨てて表示しています。
- 利回等については原則として小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また、構成比については原則として小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。
- 該当計数はあるが単位未満の場合は「0」を表示しています。また、該当計数がない場合には「—」を表示しています。

「計数編」のご案内

財務状況等のより詳細な情報については、「計数編」を作成しています。「計数編」は、当金庫ホームページにてご覧いただけます。

湘南しんきん

検索



経営理念

湘南しんきんのミッション

永遠のテーマ

つくろう わが街 果たそう 役割

お客さまへのテーマ

街に いい風 あなたに いい風

湘南しんきんのビジョン

あるべき姿

地域と共に成長し、
みんなを笑顔にする
信用金庫

湘南しんきんのバリュー

行動指針

靴底減らし 耳傾け 汗流し
知恵絞り そして感謝する

基本姿勢 (ベーシック・スタンス)

「BEST」を尽くす

ミッション

ビジョン

バリュー

会員をはじめとする利用者の皆さまの利便性向上を図るため、地域金融機関としての専門性を生かし、地域社会における高度な金融サービスの提供に努めています。また、地域社会の一員として、地域のさまざまな行事や活動に積極的に参加し、地域金融機関としての役割とは何かをしっかりと見極め、地域の発展に寄与していきたいと考えています。

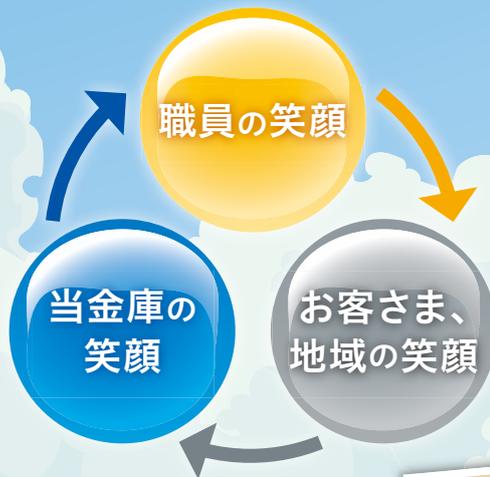
これからも、皆さまからいただいている信頼を支えに、公共的な総合金融サービス業の地位を一層強固にし、お客さまの目線にたって、地域社会の活性化に力を注いでいくことが当金庫に課せられた社会的使命であると考えています。



写真提供：鎌倉市観光協会

笑顔の成功循環モデル

湘南しんきんが目指す「**あるべき姿**」は、お客さまと地域の皆さまが「湘南しんきんと取引して良かった。」と笑顔になってもらえること。さらに、湘南しんきんで働く役職員が仕事に誇りを持ち、満足感・達成感・充実感を得て笑顔になれることです。



私たちの仕事のひとつひとは、みんな（お客さま、役職員等とその家族、当金庫に関わる全ての方々）を笑顔にすることに繋がっており、「笑顔」という共通の目標に向かって働くことで、役職員等の一体感を育みます。笑顔が地域社会、お客さま、職員の持続可能な未来の確立に繋がるマインドを定着化させ、**笑顔の成功循環モデル**の構築を目指します。

現場を第一に、靴底を減らしてお客さまとの接点を増やし、地域の声に耳を傾け、“地域と共に”、“お客さまと共に”汗を流し、お客さまのために知恵を絞って、感謝の気持ちを忘れずこれからも全力で役職員一同業務に邁進していきます。

物事の本質を見極め、均衡をとりながら、力強さとスピード感を持ち、機を見て果敢に行動し、大きな力を地域貢献のために生み出していきます。

「BEST」

Balance
バランス

Energy
エナジー

Speed
スピード

Timing
タイミング



業績ハイライト 2023

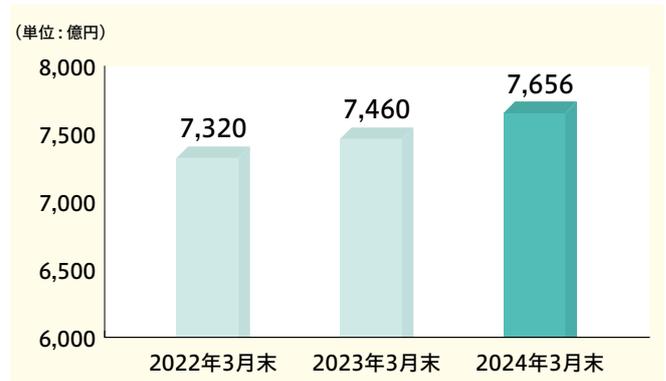
(1) 預金・貸出金の状況

2024年3月末の預金積金残高は、個人預金、法人預金ともに増加し、前期末比241億円増加の1兆3,031億円となりました。貸出金残高は、事業性融資や個人向けのフリーローンへの取り組み等により、同196億円増加の7,656億円となり、預金、貸出金ともに過去最高残高を更新しました。

▼ 預金積金残高



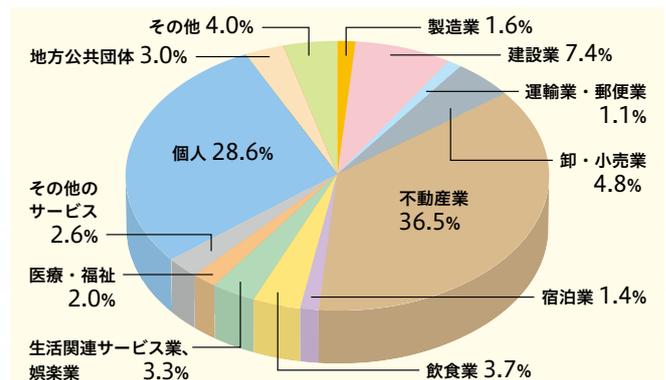
▼ 貸出金残高



▼ 法人貸出先数



▼ 貸出金業種別内訳

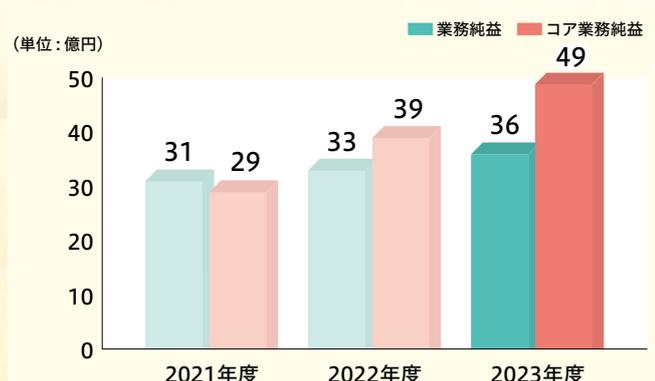


(注) 増減は表上の数値による計算結果を表示しています。

(2) 損益の状況

2023年度の本業の収益力を示すコア業務純益は、前年度比10億円増加の49億円、臨時収益・臨時費用（不良債権の引当など）を加減算した経常利益は同12億円増加の29億円、特別利益・特別損失を加減算し、税金などを差し引いた当期純利益は同10億円増加の26億円となりました。

▼ 業務純益・コア業務純益



▼ 経常利益・当期純利益

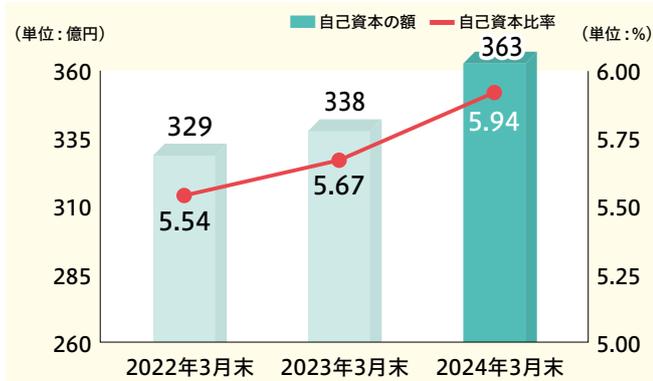


(注) 増減は表上の数値による計算結果を表示しています。

(3) 自己資本の状況

2024年3月末の自己資本比率は前期末比0.27ポイント上昇し5.94%となりました。これは、国内基準において4%を上回る「経営体質が健全で問題のない金融機関」という区分に入ります。

▼ 自己資本の額・自己資本比率



	2024年3月末
自己資本の額 (A)	363億円
リスク・アセット等 (B)	6,116億円
自己資本比率 (A) / (B)	5.94%

(注) 自己資本比率は、円単位による計算結果を表示しています。

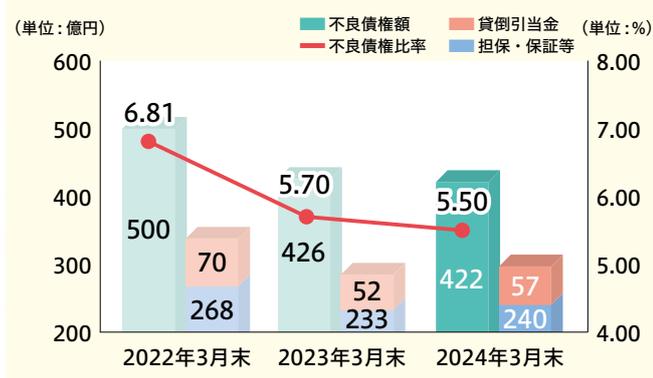
用語の説明

自己資本比率は、地域のお客さまからの出資金および過年度の利益を元とした利益剰余金等により構成される自己資本の額のリスクアセット等(リスクのある貸出金や有価証券等の資産をリスクの大きさに応じて再評価した資産金額)に対する割合のことで、経営の健全性を示す重要な指標であり、国内基準は4%以上とされています。

(4) 不良債権の状況

2024年3月末の不良債権額は、前期末比4億円減少の422億円となりました。これにより、不良債権比率は同0.20ポイント低下し5.50%となりました。

▼ 不良債権額・比率／担保・保証等、貸倒引当金



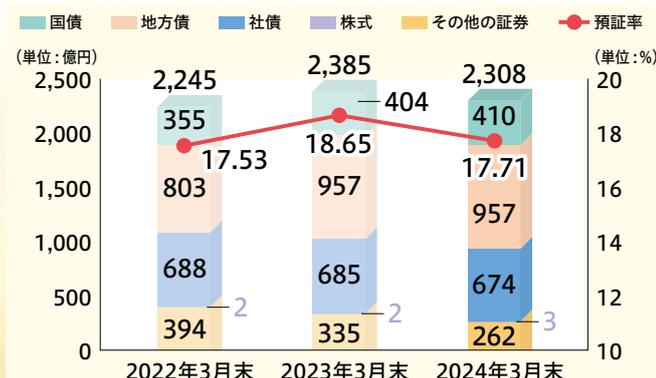
	2024年3月末
正常債権 (A)	7,251億円
不良債権 (B)	422億円
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100億円
危険債権	318億円
要管理債権	2億円
三月以上延滞債権	0億円
貸出条件緩和債権	2億円
合計 (C) = (A) + (B)	7,673億円
不良債権比率 (B) / (C)	5.50%
担保・保証等	240億円
貸倒引当金	57億円

(注) 1.不良債権比率は、円単位による計算結果を表示しています。
2.貸倒引当金は、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しています。

(5) 有価証券の状況

2024年3月末の有価証券残高は、前期末比77億円減少の2,308億円となりました。国債、地方債、格付の高い社債等を中心に安全性を重視した有価証券運用を行っています。

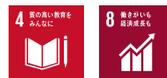
▼ 有価証券内訳／預証率



	2024年3月末
国債	410億円
地方債	957億円
社債	674億円
株式	3億円
その他の証券	262億円
合計 (A)	2,308億円
預金積金残高 (B)	13,031億円
預証率 (A) / (B)	17.71%

(注) 預証率は、円単位による計算結果を表示しています。

TOPIC 1 ジュニアボード[※]制度を創設しました



中期経営計画に掲げている「経営理念等実現するための職員エクスペリエンスの向上」を実現するためにSHONANジュニアボード制度を創設しました。任命された1期生の職員は、信金中央金庫、他信用金庫、外部企業等へ訪問する視察研修を受講し、通常業務では習得しにくい能力開発の機会を得ることで、経営への参画意識を高めました。活動最終日には、役員に対して人事制度への提言や活動報告を行いました。



※ジュニアボードは、若手・中堅職員が企業経営の施策に対して提言する「疑似役員会」のことで、人材育成や経営への参画意識を高める上で有効な手法といわれています。

TOPIC 2 マネロン[※]対策を強化しています



マネロン対策を経営の重要課題と位置づけ、管理態勢の整備・強化に取り組んでいます。対策への意識向上および知識習得を目的として、全役職員を対象としたeラーニング研修や経営陣向けの「マネロン・テロ資金供与防止に関する研修会」をオンライン形式で開催しました。また、お客さまに「お取引目的」や「ご職業」の確認等にご協力いただき、マネロン対策の強化を図っております。



※マネロン（マネー・ローンダリング）とは、犯罪や不当な取引で得た資金を正当な取引で得たように見せかけたり、多数の金融機関を転々とさせることで、資金の出所をわからなくする行為等を意味します。

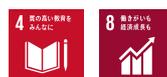
TOPIC 3 新横浜法人サポートセンターを開設しました



横浜市北部の新たな法人推進拠点として、新横浜法人サポートセンターを開設しました。産業が活性化している横浜市北部を中心に活動し、資金繰り支援や経営相談等、事業者寄り添った支援を行っていきます。



TOPIC 4 人材育成に力を入れています



金融仲介機能の発揮に向け「融資に強い職員」の育成を図るため、営業店舗長、次席者および融資担当者を対象とした「営業力強化研修」を実施しました。これからもさまざまな研修等を通じて、人材育成に取り組んでいきます。



TOPIC 5 募金活動を実施しました



能登半島地震で被災された方を支援するために、全店舗に募金箱を設置しました。また、全国信用金庫協会から呼びかけがあった「救援千円募金」に多くの役職員が賛同し協力しました。



TOPIC 6 大規模災害の発生を想定した 参集訓練を行いました



大規模災害の発生を想定した参集訓練を実施しました。当日は、関東地方南部において震度5強の地震が発生し、システムの稼働が不安定な状況という想定のもと、預金払戻し業務の手順確認等の訓練を行いました。



TOPIC 7 日本赤十字社から 献血功労者表彰を受けました



献血事業の推進に積極的に取り組み、多大な貢献をしたとして、日本赤十字社から献血功労者表彰を受けました。2009年から毎年「信用金庫の日(6月15日)」の社会貢献活動の一環として、献血活動を実施していることを評価していただきました。



TOPIC 8 第27回神奈川県信用金庫 サッカー大会で初優勝しました



第27回神奈川県信用金庫サッカー大会において、当金庫は悲願の初優勝を果たしました。次の目標である連覇を達成するために、これからも選手一丸となって練習に励んでいきます。



TOPIC 9 世界バトントワーリング 選手権大会で優勝しました



英国リバプールで開催された世界バトントワーリング選手権大会に当金庫職員が日本代表として出場しました。エントリーした「アーティスティックペアシニア部門」で1位となり、世界チャンピオンに輝きました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



ACTIVITY 1 地域活性化への取組み



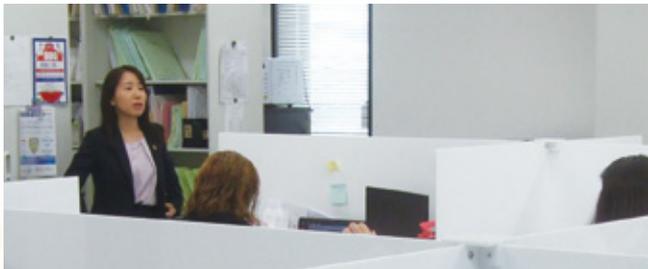
課題・悩み事

- 地方創生
- 商店街活性化
- 創業・起業
- ライフプラン
- 相続
- 資産運用
- 健康増進
- 販路拡大
- 補助金申請
- 経営改善
- 技術開発
- 事業再生
- 認定申請
- 事業承継

1 「チーム湘南」が地域の事業者を支援しています



従業員の皆さまを対象とした「新NISAセミナー」をお取引先の事業所にて開催しています。「チーム湘南」がセミナーを開催させていただきますので、お近くの湘南しんきん本支店までお気軽にお問い合わせください。



革製のバッグや小物をオーダーメイドで制作している事業者にふるさと納税返品への登録を提案し、手続きをサポートしました。ふるさと納税のWEBサイトに掲載されたことにより認知度が向上し、新規顧客の獲得に繋がりました。



2 神奈川県信用保証協会から感謝状を贈呈されました



神奈川県信用保証協会が推進する「創業保証」、「事業転換に係る保証」に貢献したとして、同協会から感謝状を贈呈されました。これからも外部機関と連携し、創業を目指す方々や中小企業等を力強く支援していきます。



3 外部機関と連携して、中小企業等の事業承継をサポートしています



神奈川県信用保証協会および(株)日本政策金融公庫の神奈川県内5支店と取引先の事業承継を支援することを目的とした「事業承継支援に関する覚書」を締結しました。連携する3者がそれぞれの強みを生かし、中小企業等の事業承継をサポートしていきます。



ACTIVITY 2 文化的・社会的な地域貢献活動

1 地域行事へ積極的に参加しています



鎌倉駅前支店は児童養護施設で行われた夏祭りに参加し、ポップコーンの模擬店を出店しました。コロナ禍で自粛していたため、4年ぶりの開催となりましたが、地域の方々や子供たちが大勢訪れ、笑顔があふれる1日になりました。



北久里浜支店や職員有志による「ボランティア同好会」は、「よこすかSEAプロジェクト」に参加し、久里浜海岸および野比海岸の清掃活動を行いました。これからも環境保護に資する取組みを地域の皆さまと共に行っていきます。



2 安全・安心の街づくりに取り組んでいます



大船警察署が開催した「安全・安心まちづくり旬間出陣式」にて、当金庫職員が窓口で特殊詐欺被害を防止した経験談を来場した市民らに向けて講話しました。これからも警察と協力して被害の防止に努めていきます。



営業活動における事故防止および運転技術の向上を目的とした自動車運転講習会を開催しました。運転技術に加え、譲り合いの精神の重要性などを学び、事故防止に努めることを参加者で確認しあいました。



3 次世代の教育活動に取り組んでいます



産学連携協定を締結している神奈川大学・関東学院大学・鎌倉女子大学・横浜商科大学の学生12名を受け入れ、インターンシップを実施し、信用金庫の仕事やビジネスマナーについて講義しました。実習最終日には学生から当金庫に対して、さまざまな提言がなされました。また、2025年学卒予定者を対象に「秋季1day仕事体験」を実施し、実際の営業店と同じ端末を使用して、口座開設や入出金などのオペレーションを体験しました。



ACTIVITY
3

地域密着型金融の取組状況（2023年4月～2024年3月）

当金庫は、地域に根差した金融機関として「つくろう わが街 果たそう 役割」を永遠のテーマとし、皆さまとともに発展していくことを基本理念に、「地域密着型金融」を推進しています。ここでは「地域密着型金融の取組状況」と合わせて金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる「金融仲介機能のベンチマーク」を公表いたします。「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、引き続き「地域に寄り添うパートナー」として地方創生・地域社会発展のために全力を注いでいきます。

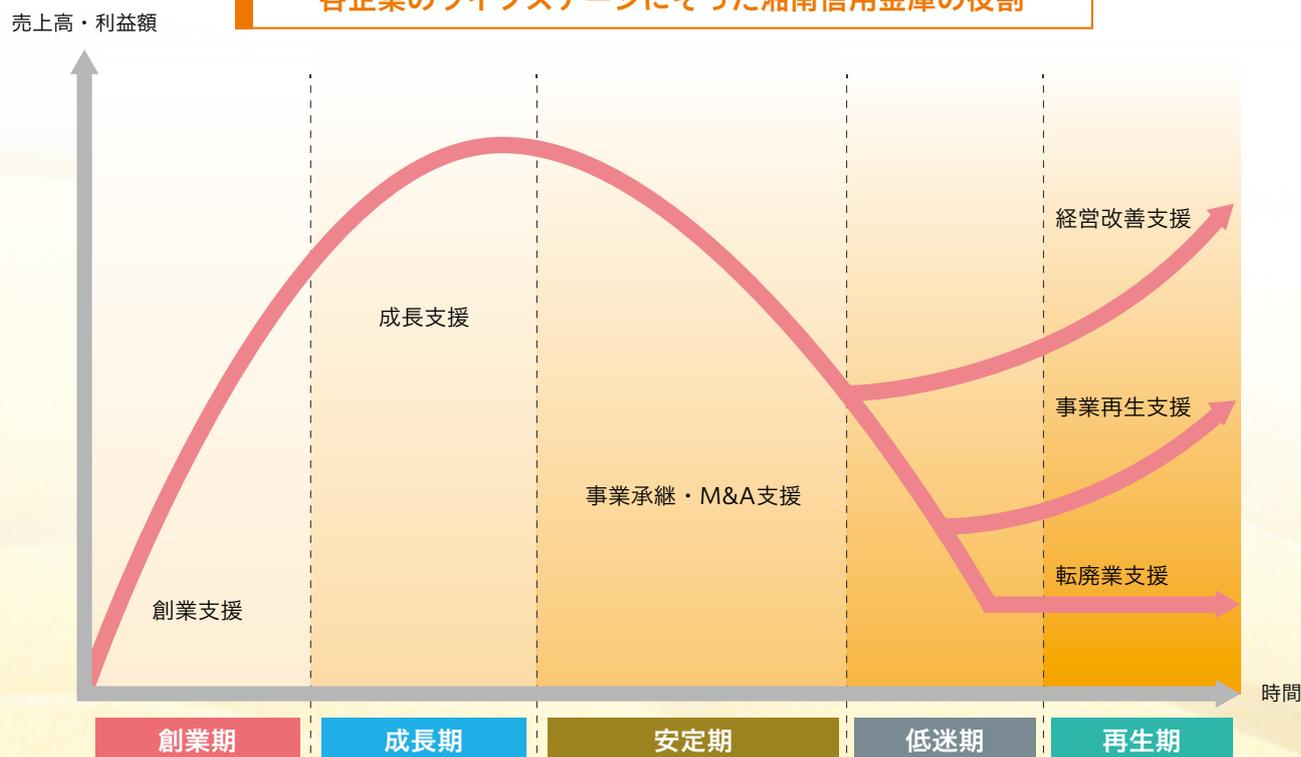
【1】当金庫がメインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標（売上・営業利益率）の改善や就業者数の増加が見られた先数および、同先に対する融資額の推移

	2023年3月末	2024年3月末
メイン先数	4,794先	4,770先
メイン先の融資残高	3,360億円	3,318億円
うち経営指標等が改善した先数	2,182先	2,214先
うち経営指標等が改善した先の融資残高	2,373億円	2,357億円

【2】ライフステージ別の与信先数および融資額

		合計	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	2023年3月末	9,960先	1,352先	820先	3,620先	974先	482先
	2024年3月末	10,221先	1,404先	1,050先	3,814先	675先	509先
融資残高	2023年3月末	4,920億円	309億円	656億円	2,376億円	463億円	568億円
	2024年3月末	5,147億円	332億円	864億円	2,468億円	359億円	531億円

各企業のライフステージにそった湘南信用金庫の役割



ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援融資

当金庫では、地域やお客さまが抱える課題等を解決する専門部署「チーム湘南」を設置し、創業・新事業等のご相談を承っています。

また、外部機関との連携を密にし、情報交換会や勉強会を開催、ビジネスマッチングや各種認定・補助金の申請支援等にも力を入れています。

創業・新事業支援融資実績

年度	実績
2022年度	806先
2023年度	981先

経営改善・事業再生支援

当金庫では、お取引先の経営改善・事業再生を支援するため、専担部署を設置しています。同部署では、営業店との連携に加え、税理士・公認会計士等の外部専門家や信用保証協会・政府系金融機関・中小企業活性化協議会等の外部機関とも連携し、支援活動を行っています。

特に支援の必要性が高いお取引先を経営改善支援先と定め、業況の把握や資金繰り相談のほか、ビジネスモデルの再構築や財務基盤の改善に対する助言、経営改善計画の策定支援、定期的なモニタリングによる伴走支援に取り組むなど、アフターコロナ・物価高騰等を踏まえたお取引先の支援を行っています。

専担部署による経営改善支援先

年度	実績
2022年度	105先
2023年度	105先

【3】販路開拓支援を行った先数

2022年度	2023年度
29先	78先

【4】事業承継支援先数

2022年度	2023年度
14先	40先

【5】創業支援先数

	2022年度	2023年度	
①創業計画の策定支援先数	5先	27先	
②創業期の取引先への融資先数	(プロパー)	147先	186先
	(信用保証付)	659先	795先
③政府系金融機関や創業支援機関の紹介先数	9先	9先	

【6】本業支援に関する研修等を実施した回数、参加者数および資格取得者数

	2022年度	2023年度
①研修実施回数	32回	34回
②参加者数	212人	420人
③資格取得者数（中小企業診断士）	11人	11人

【7】外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数

2022年度	2023年度
22先	14先

【8】本業支援に関する中小企業支援策の活用を支援した先数

2022年度	2023年度
96先	33先

【9】中小企業与信先のうち、無担保与信先数および無担保融資額の割合

	2023年3月末	2024年3月末
中小企業与信先数①	9,960先	10,221先
中小企業向け融資残高②	4,920億円	5,147億円
無担保融資先数③	6,727先	7,005先
無担保融資残高④	845億円	878億円
③／①	67.5%	68.5%
④／②	17.1%	17.0%

【10】中小企業与信先のうち、根抵当権を設定していない与信先の割合

	2023年3月末	2024年3月末
中小企業与信先数①	9,960先	10,221先
根抵当権未設定先数②	7,468先	7,610先
②／①	74.9%	74.4%

【11】中小企業与信先のうち、事業性評価に基づく融資を行っている与信先数および融資残高の割合

	2023年3月末	2024年3月末
与信先数	48先	54先
融資残高	32億円	49億円
中小企業与信先数に占める割合	0.48%	0.54%
中小企業与信残高に占める割合	0.64%	0.95%

(注) 与信先数および融資残高は、当金庫独自の「事業性評価シート」に基づき融資を実行した先の期末先数・残高

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を以下のとおり策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

(1) 経営者保証に関する取組方針

経営者保証に関する取組方針

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着させていくために、以下のとおり取り組みます。

- ▶ お客さまが融資等資金調達のお申込みをした場合、当金庫では、お客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法（一定の金利の上乗せ等）を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。
- ▶ 上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
- ▶ 経営者保証を提供いただく場合、お客さまの資産及び収入の状況、融資額、信用状況、情報開示の姿勢等を総合的に勘案して、適切な保証金額の設定に努めます。
- ▶ お客さまから既存の保証の変更・解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
- ▶ 事業承継時には、原則として前経営者、後継者の双方から二重で経営者保証は求めないこととし、例外的に二重に保証を求めることが必要な場合には、丁寧かつ具体的な説明を行います。
また、後継者に当然に保証を引き継いでいただくのではなく、その必要性を改めて検討いたします。
- ▶ お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。

(2) 「経営者保証に関するガイドライン」への取組状況

	2022年度	2023年度
新規に無保証で融資した件数	552件	1,134件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	9.1%	18.9%
保証契約を解除した件数	71件	107件

※「保証債務整理」については、当金庫をメイン金融機関として成立に至った経営者保証に関するガイドラインに基づくお申し出はありませんでした。

経営者保証に関するガイドラインの活用先数および、全与信先数に占める割合

	2023年3月末	2024年3月末
全与信先数①	9,960先	10,221先
ガイドライン活用先数②	485先	718先
②/①	4.9%	7.0%

湘南信用金庫は、 創立100周年を迎えました



湘南信用金庫は2024年3月10日に創立100周年を迎えました。これもひとえに地域の皆さまの永年にわたる温かいご支援の賜物であり、役職員一同、心より感謝申し上げます。

これまで支えていただいた地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、さまざまな創立100周年記念事業を実施しております。今後とも変わらぬご支援とお引き立てを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

★★★ 創立100周年記念式典および 決起集会を開催しました ★★★

2024年3月17日、総代や信和会会員など約500名をお招きし、「創立100周年記念式典」を開催しました。余興として、室内楽の生演奏や中国獅子舞の演舞が行われ、出席者に楽しんでいただきました。記念式典終了後には、「創立100周年記念決起集会」を開催しました。当金庫役職員、OB・OGなど総勢800名が出席し、新たな100年に向け、団結力を高めました。



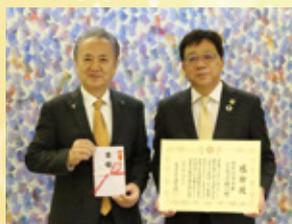
★★★ 特設サイトを開設しました ★★★

2024年1月に「創立100周年特設サイト」を開設しました。地域と共に歩んできた100年の歴史を紹介する「社史スライドショー」や職員が生き生きと働く様子などを撮影した「店舗・本部紹介動画」等のコンテンツを公開していますので、是非ご覧ください。



★★★ 本店を構えていた3市に寄付を行いました ★★★

湘南信用金庫の前身である、横須賀信用金庫、鎌倉信用金庫、茅ヶ崎信用金庫の本店を構えていた3市に対し、これまでの感謝の気持ちを込めて市民の皆さまのために役立ててもらべく、寄付を行いました。



横須賀市



鎌倉市



茅ヶ崎市

★★★ 奨学金制度を創設しました ★★★

地域の未来を担う学生の教育を充実させることを目的として、産学連携協定を締結している4大学(神奈川大学、関東学院大学、鎌倉女子大学、横浜商科大学)に寄付を行いました。また、卒業生が数多く当金庫に在籍し、寄付講座を開講するなど、長く相互に協力し合っている神奈川大学および関東学院大学につきましては、継続的な奨学金制度を創設しました。



神奈川大学



関東学院大学



鎌倉女子大学



横浜商科大学

総代会

総代会の仕組

信用金庫は会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念とする協同組織金融機関です。

会員となるためには定款で定める5,000円以上の出資をすることが必要ですが、出資金額の多寡に関係なく、会員は一人一票の議決権を持っています。

会員は総会を通じて信用金庫の経営に参加しますが、当金庫では会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では総会に代えて「総代会」を置いています。

総代会は、会員の皆さまの総意を適正に反映し充実した審議を確保するとともに、決算の承認、定款の変更、理事・監事の選任等、当金庫の重要事項を決議する最高の意思決定機関です。

会員の代表として、その総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っているのが、総代会を構成する総代です。当然、その選考にあたっては適正な手続きに基づくことが求められます。

当金庫では2004年12月8日「総代選任規程」を制定し、以下のような基準と方法によって総代を選考しています。

総代候補者選考基準

資格要件

- ・当金庫の会員であること
 - ・原則、就任時点で満80歳を超えていないこと^(注)
- (注) 2017年7月、総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせの改定に伴い定年制度を導入しました。

適格要件

- ・総代としてふさわしい見識を有している方
- ・良識をもって正しい判断ができる方
- ・人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している方
- ・そのほか総代候補者選考委員が適格と認めた方

総代とその選考方法

総代の任期定数

- 総代の任期は3年です。改選時期は7月で、2023年7月に改選を行いました。
- 総代の定数は、120人以上160人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められています。なお、2023年7月の総代改選で152人の総代が就任しました。また、会員数は2024年3月末日現在52,928先となっています。



総代の選考方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。

総代は、前項の「総代候補者選考基準」に基づき、次の手続きを経て選考されます。

- ① 当金庫の営業区域を7区の選任区域に分け、選任区域ごとに会員数を案分して総代の定数を定めます。

- ② 会員の中から総代候補者選考委員を選任します。総代会の決議により、選任区域ごとに会員の内から選考委員を委嘱します。

- ③ 総代候補者選考委員が総代候補者を選考します。選考した総代候補者を理事長に報告し、その氏名を1週間以上店頭掲示し、掲示している旨を公告します。

- ④ 総代候補者を会員が信任します。異議があれば公告後2週間以内に申し立てていただけます。異議がなければ選任されます。

- ⑤ 理事長は、総代を委嘱します。選任された総代の氏名を店頭に1週間以上掲示します。

当金庫では、総代会に限定することなく、役職員の日々の訪問活動や利用者満足度調査を実施するなど、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでいます。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

第100期通常総代会に関する事項

2024年6月24日、第100期通常総代会を開催し、下記の事項が付議され、承認されました。

報告事項

- ・第100期業務報告及び貸借対照表並びに損益計算書報告の件

決議事項

- ・第1号議案 第100期剰余金処分案承認の件
- ・第2号議案 会員除名の件
- ・第3号議案 理事任期満了に伴う改選の件
- ・第4号議案 監事選任の件

総代のご紹介

▼ 総代の氏名等

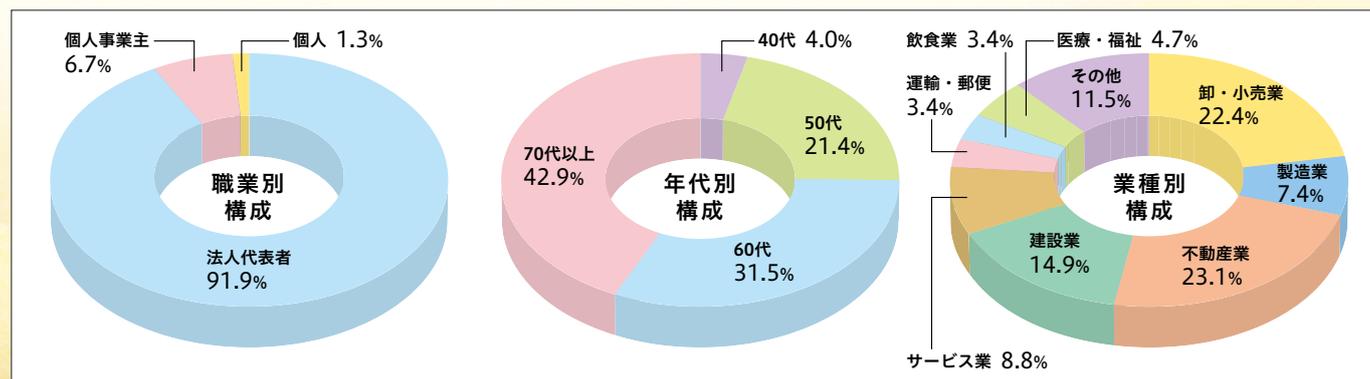
(2024年7月1日現在)

選任区域		氏名						人数
第1区	横須賀市(中央部・北部) 追浜町・船越町・田浦町・大滝町・ 若松町・汐入町・上町・坂本町・ 三春町・安浦町 ほか	阿久津 弘 ¹²	岩澤 啓子 ³	大川 涉 ¹⁰	大川 隆弘 ²		15人	
		小澤 白敏 ¹³	越川 昌光 ³	佐藤 洋幸 ⁶	高橋 充 ²			
		多田 かほる ³	田村 真持 ⁶	橋本 祐三子 ³	久恒 たまみ ¹			
		福嶋 義信 ¹⁴	吉田 清 ⁴	渡邊 悟 ⁸				
第2区	横須賀市(西部) 池上・平作・衣笠栄町・小矢部・ 佐野町・公郷町・森崎・長井・武 ほか 三浦市	相澤 静夫 ⁷	石川 裕千 ¹	石渡 庸介 ³	大草 貴之 ⁶		14人	
		大島 敬三 ¹⁵	小池 克彦 ¹⁰	古敷谷 美津江 ⁴	佐久間 洋史 ¹			
		関矢 和吉 ¹²	高梨 喜裕 ⁴	立川 明彦 ³	田中 博之 ⁵			
		中村 和陽 ²	益子 健一 ⁸					
第3区	横須賀市(東部・南部) 大津町・久里浜・浦賀・根岸町・ 野比・長沢・津久井・馬堀町・鴨居・ 佐原 ほか	岩波 啓之 ³	臼井 功次 ³	折戸 匡夫 ⁵	荻山 秀樹 ¹		19人	
		古敷谷 敬二 ⁶	杉山 圭一 ³	鈴木 孝博 ⁸	高橋 拓海 ⁷			
		高橋 民雄 ²	玉木 弁立 ¹¹	長瀬 弘 ³	新浪 一嘉 ²			
		野村 収 ⁶	橋本 篤一郎 ⁶	藤田 和秀 ²	村松 修 ⁶			
第4区	横浜市 港南区・磯子区・泉区・金沢区・栄区・ 戸塚区	秋山 功 ⁷	飯泉 牧太郎 ¹⁹	尾形 正守 ⁷	小澤 潔 ⁴		21人	
		小尾 一 ⁵	金子 裕之 ⁷	近藤 智平 ¹	坂本 龍 ⁸			
		関根 宗平 ¹¹	高橋 雅人 ³	高橋 稔 ⁶	新倉 良是 ³			
		波多野 裕 ⁷	早川 恭彦 ⁴	福嶋 浩之 ⁶	福嶋 隆太郎 ⁵			
第5区	横浜市 中区・保土ヶ谷区・南区・旭区・ 神奈川区・西区・瀬谷区・鶴見区・ 緑区・青葉区・都筑区・港北区 川崎市 東京都 大田区・品川区・港区・目黒区・ 世田谷区・町田市	秋葉 菜保子 ³	網野 孝司 ⁸	植本 正太郎 ³	内池 直人 ¹⁰		36人	
		内田 照夫 ¹³	大島 竹人 ¹	大橋 恵子 ²	小笠原 裕 ⁵			
		荻間 勉 ²	尾野 靖司 ¹¹	葛西 延美 ³	金子 清人 ⁴			
		神代 光人 ⁸	河野 信昭 ¹	河野 美徳 ²	北見 尚之 ⁸			
第6区	鎌倉市 逗子市 藤沢市 葉山町	浅田 昌良 ⁷	大崎 哲郎 ⁵	小澤 裕介 ¹	桐ヶ谷 寛 ³		23人	
		久保田 陽彦 ⁴	熊澤 昇 ¹⁰	座間 幹夫 ¹⁶	滝本 了 ⁷			
		武内 郁 ⁴	竹永 達也 ⁴	長戸 久幸 ¹	中村 悟 ³			
		古屋 清 ¹¹	牧田 知江子 ⁶	松谷 直 ⁸	最上 重夫 ¹³			
第7区	茅ヶ崎市・寒川町・平塚市・海老名市・ 大和市・座間市・厚木市・綾瀬市・ 大磯町・相模原市(旧津久井郡を除く)・ 二宮町・中井町・秦野市・伊勢原市・ 清川村・小田原市・箱根町・湯河原町	浅岡 康一 ¹	伊澤 敏典 ⁷	伊藤 和明 ³	岩澤 あゆみ ²		21人	
		内野 晴雄 ¹	大久保 義雄 ²	大森 竜太郎 ²	小澤 雅彦 ³			
		島村 繁 ⁴	下里 宏規 ⁴	下山田 英明 ⁷	新門 三千夫 ⁶			
		永沢 武 ¹²	野口 了 ¹	長谷川 静子 ³	服部 誠 ⁵			
	樋口 公平 ²	前川 義憲 ⁹	三澤 京子 ³	柳下 守康 ¹³				
	山口 秀明 ³							

合計 149人

(五十音順、敬称略、丸数字は総代の就任回数)

▼ 総代の属性別構成



(注) 業種別の構成比は法人代表者および個人事業主に限ります。構成比は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。

内部管理態勢

内部管理基本方針

当金庫は、信用金庫法第36条第5項第5号および同法施行規則第23条に基づき、業務の健全性および適切性を確保するための基本方針として「内部管理基本方針」を定め、体制の整備と実効性の確保に努めています。

内部管理基本方針（概要）

1. 理事および職員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
2. 理事の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 当金庫および子会社から成る集団における業務の適正を確保するための体制
6. 監事がその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
7. 監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性および当該職員に対する指示の実効性の確保に関する事項
8. 監事への報告に関する体制
9. 監事への報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取り扱いを受けないことを確保するための体制
10. 監事の職務の執行について生ずる費用の前払いまたは償還の手続きその他の当該職務の執行について生ずる費用または債務の処理に係る方針に関する事項
11. 監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

リスク管理態勢

統合的リスク管理態勢

基本方針

統合的リスクとは、当金庫の直面するリスクに関して、それぞれのリスク・カテゴリーごと（信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク等）に評価したリスクを総体的に捉え、当金庫の経営体力（自己資本）と比較・対照することによって、自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。また、管理すべきリスクの種類は随時見直し、環境変化に応じて新たに発生したリスクへの管理も行うこととしています。

当金庫は業務全般にわたってリスクが存在することおよびそのリスクを見逃すことがお客さまの信頼や当金庫の経営に重大かつ深刻な影響を与える可能性が高いことを強く認識し、内在する各種リスクを業務やリスクの特性に応じて適切に管理し、コントロールしていくことを経営上の最重要課題として受け止め、リスクとリターンの適切なバランスを確保すべく、リスク管理態勢の充実・強化に取り組んでいます。

当金庫では、リスクを「信用リスク」、「市場リスク」、「流動性リスク」、「オペレーショナル・リスク」に分類し、各リスクの特性に応じた管理を行っています。

また、「統合的リスク管理方針」および「統合的リスク管理規程」等を制定し、より高度な統合的リスク管理に努めるべく、常務会、リスク管理委員会、その下部組織である各種リスク管理委員会を中心に徹底した統合的リスク管理に取り組んでいます。

信用リスク管理

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化等により、資産（オフ・バランス資産を含む）の価値が減少ないし消失して、当金庫が損失を被るリスクです。

当金庫では、信用リスクを管理すべき最重要リスクの一つであると認識し、当該リスクに関する「信用リスク管理方針」および「信用リスク管理規程」を制定し、広く役職員に理解と遵守を促すとともに、管理態勢の強化を図っています。また、ホームページ上に融資基本姿勢（クレジット・ポリシー）を掲示し対外的にも明示しています。

信用リスクの評価については、厳格な資産の自己査定を実施し、回収の危険性や価値の毀損度合を的確に把握しています。また、正確な自己査定および適正な償却・引当の基礎となる信用格付につい

ては法人に加えて個人事業者も対象としており、ご融資のある取引先の財務データ蓄積を重ね、信用リスク計量化の基礎構築を行っています。

信用リスクの管理については、信用リスク管理委員会を設置し、貸出金の動向、不良債権の発生・回収状況等の報告をもとに、信用リスクに関する様々な分析・検討を行っています。

市場リスク管理

市場リスクとは、金利、有価証券の価格、為替等の様々な市場のリスクファクターの変動により、資産・負債（オフ・バランスを含む）の価値が変動して損失を被るリスクです。

当金庫では、市場リスクを適切に管理し、コントロールすることが収益の安定確保につながるとの認識から、ALM委員会を設置し、オンライン勘定系システムに連動したALMシステムを活用しながら、預金（調達）・貸出金（運用）金利を決定したり、有価証券の運用状況等を管理しています。

市場リスクについては、「市場リスク管理方針」および「市場リスク管理規程」に基づき適切な管理に努め、統計的手法（VaR）によるリスク量の計測・異常な事態を想定したストレステストや実際の損益との比較をするバックテスティングを行い、常にリスク管理の高度化・精緻化に努めています。

流動性リスク管理

流動性リスクとは、調達と運用の期間のミスマッチや予期しない預金の流出等により資金手当が必要な場合に、市場から資金が調達できなかったり、著しく高い金利での資金調達を余儀なくされたりすることにより損失を被るリスクです。

当金庫では、「流動性リスク管理方針」および「流動性リスク管理規程」に基づき適切な管理に努めるとともに手元流動性資金を十分に確保し、万全の体制を整えています。また、余裕資金の運用については、安全性、流動性が高く、即資金化できる短期運用資産の充実に努め、適正な支払準備資産を確保しています。

流動性リスクの管理については、ALM委員会を設置するとともに、日次でリスク量の計測を行っています。「流動性危機管理マニュアル」では、資金繰りの状況に応じた「平常時」「懸念時」「危機時」の判定基準、および「懸念時」「危機時」の対応について定めています。

オペレーショナル・リスク管理

オペレーショナル・リスクとは、金庫の業務の過程、役職員の活動、若しくはシステムが不適切であること、または、外生的な事象により損失を被るリスクです。

当金庫では、さらに事務リスク、システムリスク、その他リスク（人的リスク、有形資産リスク、風評リスク、法務リスク）に分類しています。

当金庫では、「オペレーショナル・リスク管理方針」に基づき適切な管理に努めるとともに、常務会・リスク管理委員会において総合的な管理を行っています。

● 事務リスク管理

事務リスクとは、役職員が事務処理をルール通り正確に行わないことや、事故・不正等を起こすことにより損失を被るリスクです。

当金庫では、「事務リスク管理方針」および「事務リスク管理規程」に基づき適切な管理に努めるとともに各業務を主管する本部各部署において、事務取扱規程・要領等の整備に努め、事務処理能力の向上を図るとともに各種事務の機械化を積極的に推進することにより厳正な事務処理体制の整備を行っています。

内部管理態勢の検証と事故・不正等の未然防止に関しては、事務・システムリスク管理委員会を設置し、定期的な委員会の開催により事務リスクの把握に努め、事務処理手続き等の周知・徹底と厳正化を図っています。また、対象事務を主管する本部各部署が策定した検査項目を、自店検査として営業店自らが検証することで内部牽制機能を発揮するとともに、主管する本部各部署は事後検証等による不備項目等の把握と再発防止策の立案等により、PDCAサイクルの確立を図っています。事務・システムリスク管理委員会では、自店検査で判明した不備項目等を定期的に報告させ、主管する本部各部署に対して改善指導の実施を促します。

● システムリスク管理

システムリスクとは、コンピューターシステムのダウン又は誤作動等によるシステム障害ならびにコンピューターの不正使用、サイバーセキュリティ事案等により当金庫が損失を被るリスクです。

当金庫では、「システムリスク管理方針」および「システムリスク管理規程」に基づき適切な管理に努めるとともに、管理すべきリスクの所在・種類・特性を明確にし、厳格なセキュリティ管理とシステム監査およびモニタリングを実施して、安定的な業務遂行のための態勢強化を図っています。また湘南信用金庫CSIRTを設置し、サイバーセキュリティ事案に関して、当金庫外で発生した事案の情報収集、分析・評価、および未然防止策の検討・実施と、金庫で発生

した場合の迅速な情報連携、早期復旧、および再発防止策の検討を行っています。

事務・システムリスク管理委員会では、システムリスク管理のモニタリング結果を検証し、必要に応じて管理方法の運用改善を図っています。

● 人的リスク管理

人的リスクとは、人事運営上の不公平・不公正（報酬・手当・解雇等の問題）から生じる損失・損害などを被るリスクです。

当金庫では、適切な人事管理および人事運営を行うことを基本とし、教育・研修や職場指導等により、損失の未然防止・極小化を図っています。また、人的リスクが経営に大きな影響を与えるものと認識し、常務会において管理を行っています。

● 有形資産リスク管理

有形資産リスクとは、有形資産の毀損・損害などを被るリスクです。

当金庫では、所有する動産・不動産の所在および現状を把握し、災害や不法行為等による被害に備え適切な管理を行っています。また、有形資産リスクが経営に大きな影響を与えるものと認識し、常務会において管理を行っています。

● 風評リスク管理

風評リスクとは、事実の有無にかかわらず世間一般で当金庫の信用に悪影響を及ぼす風評が広まることにより損失を被るリスクです。

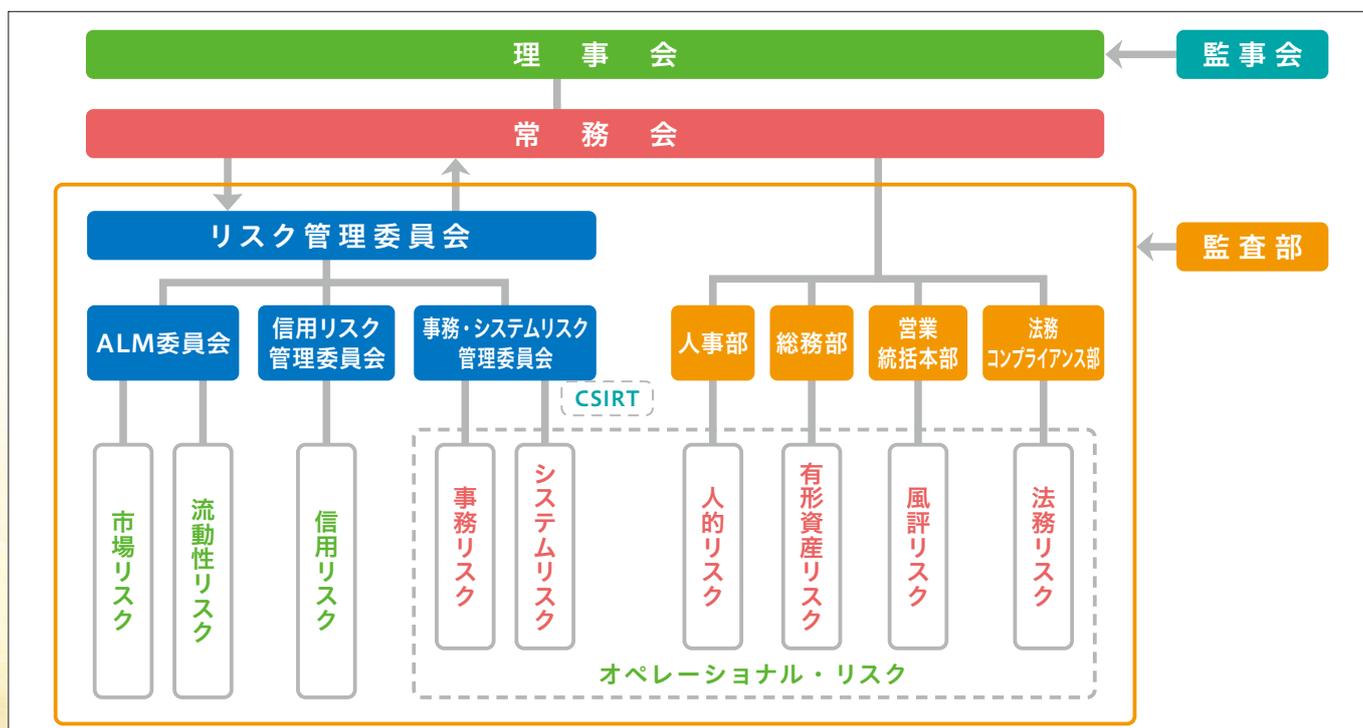
当金庫では、風評リスクが経営に与える影響は非常に大きいものであると認識し、風評の早期発見に努めるとともに緊急度・影響度等の観点から適切に対応することで損失の極小化を図り、風評の急激な悪化やそれに伴う不測の事態に備えるため「風評リスク管理マニュアル」を制定するとともに、常務会において管理を行っています。

● 法務リスク管理

法務リスクとは、当金庫および役職員等が各種法令に抵触する行為を行うことにより損失を被るリスクです。

当金庫の社会的使命と公共性の自覚のもと、法規範並びに社会規範の厳格な遵守を維持し、事業・業務運営等の活動にあたって、様々な状況下で発生する法務リスクについて、有効・適切な組織対応を実現するため「法務問題の一元管理に関する規程」を定めています。また、統括部署として「法務コンプライアンス部」を設置し、適法・適切かつ公正な問題解決の早期実現と、法務リスクの最大限の回避を図り、もって社会の要請に応えることを目指し、常務会の指導のもと厳格な管理を行っています。

▼ リスク管理体制図



法令等遵守態勢、マネロン・テロ資金供与対策に係る態勢整備、顧客保護等管理態勢、金融ADR制度への対応

法令等遵守態勢

基本方針

当金庫では、理事および職員ならびに子会社の役員・従業員の職務執行において、法令や定款への適合を確保する態勢の構築や適切な運用を図ることにより、業務の健全性と適切性を確保し社会的規範にもとることのない経営活動を実施しています。法令等遵守はもとより、反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策にも積極的に取り組んでいます。

法令等遵守の運営態勢

当金庫では、法令等遵守に関する事項を統括する部署として、法務コンプライアンス部を設置しています。実施部門となる本部各部および営業店の全部署には法令等遵守の管理・運用者となる、コンプライアンス委員を任命・配置しており、自部署における管理運用を各部課室店長と連携することにより、コンプライアンス・プログラムを着実に実施しています。

法務コンプライアンス部は、実施部門のコンプライアンス・プログラムの効率的・効果的な実行を検証する検証機能の発揮のほか、全部課室店の法令等遵守に関する情報収集・調査・分析を行います。

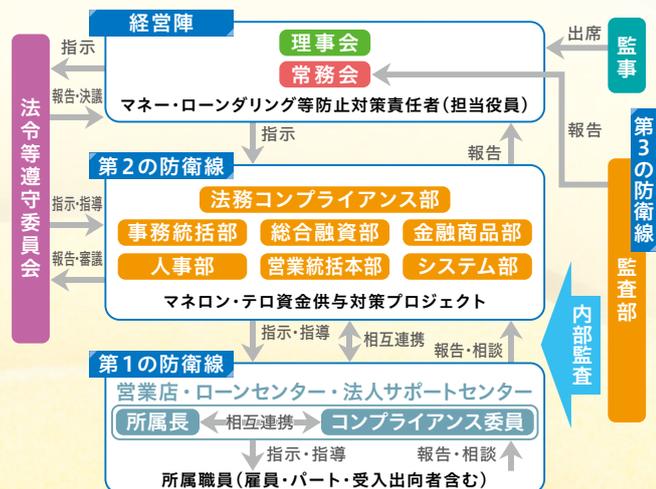
マネロン・テロ資金供与対策に係る態勢整備

当金庫では、反社会的勢力やテロ組織等の非合法組織への資金を断つ国際的な取組みに協調するべく「マネー・ローンダリング(※1)及びテロ資金供与(※2) (以下、「マネロン・テロ資金供与」) 対策」を構築し高度化を図っているところです。継続的かつ積極的にマネロン・テロ資金供与リスクの低減を図ることの一環として、当金庫ではお客さまの現状確認や取引内容の実態を確認させていただく必要があることから、お客さま宛ての「アンケート」を送付し、その回答結果に応じたリスク評価とリスク低減策の実施等、PDCAサイクルを中心とした各種施策を実施いたします。安全で安心な金融取引を維持するためにもご協力をお願いします。

※1：マネー・ローンダリングとは、金融システム等を利用することで、犯罪収益の出所や真の所有者が分からないようにする等の行為をいいます。

※2：テロ資金供与とは、金融システム等を利用して、テロリストやその協力者、大量破壊兵器の拡散に関わる者等に対し、資金またはその利益を提供する行為をいいます。

マネロン・テロ資金供与対策管理体制図



顧客保護等管理態勢

基本方針

当金庫は、顧客保護等管理態勢を構築し、適切な運用を図ることにより業務の健全性および適切性を確保することを目的としています。また、お客さまの保護および利便性向上の観点から、①「顧客説明」(商品説明、取扱い説明等) ②「顧客サポート等」(苦情・要望・相談等) ③「顧客情報管理」(法人を含む顧客情報の管理等) ④「外部委託管理」 ⑤「利益相反管理」 ⑥「その他顧客保護等」(顧客利便性の向上への取組) 等を達成するため必要となる管理を行っています。

顧客保護等の運営態勢

当金庫では、顧客保護等管理を統括する責任者として「顧客保護等管理責任者」を置き、常務会や管理責任者の役割・責任を定めています。また「顧客保護等基本姿勢」「個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)」を公表しています。

顧客保護等管理の主管部署を法務コンプライアンス部とし、本部各部署および営業店で実施する自主点検の結果を検証し、指導・監督する態勢を構築しています。

金融ADR制度への対応

▼金融ADR制度とは

簡易・迅速な紛争解決を実現する裁判外紛争解決制度のことをいいます。

苦情処理措置

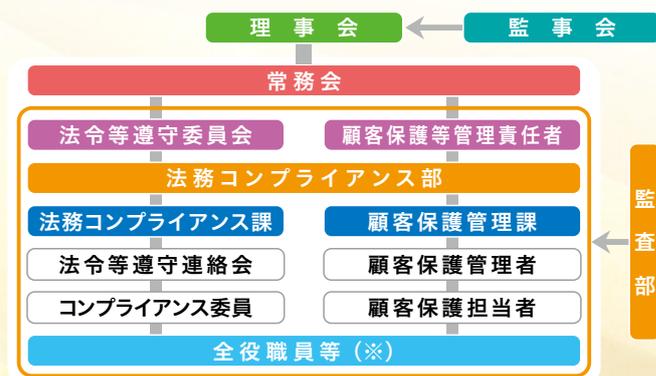
当金庫は、お客さまからの苦情お申し出に公正かつ確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ、パンフレット等で公表しています。

苦情は、当金庫営業日に営業店またはお客様相談室(9時～17時フリーダイヤル：0120-001-941)にお申し出ください。

紛争解決措置

お客様相談室または全国しんきん相談所、関東地区しんきん相談所に申し出があった際は、東京・神奈川の各弁護士会の仲裁センター等に取次いたします。また、お客さまから各弁護士会へ直接申し出をされることも可能です。

コンプライアンス(法令等遵守)・顧客保護等管理体制図

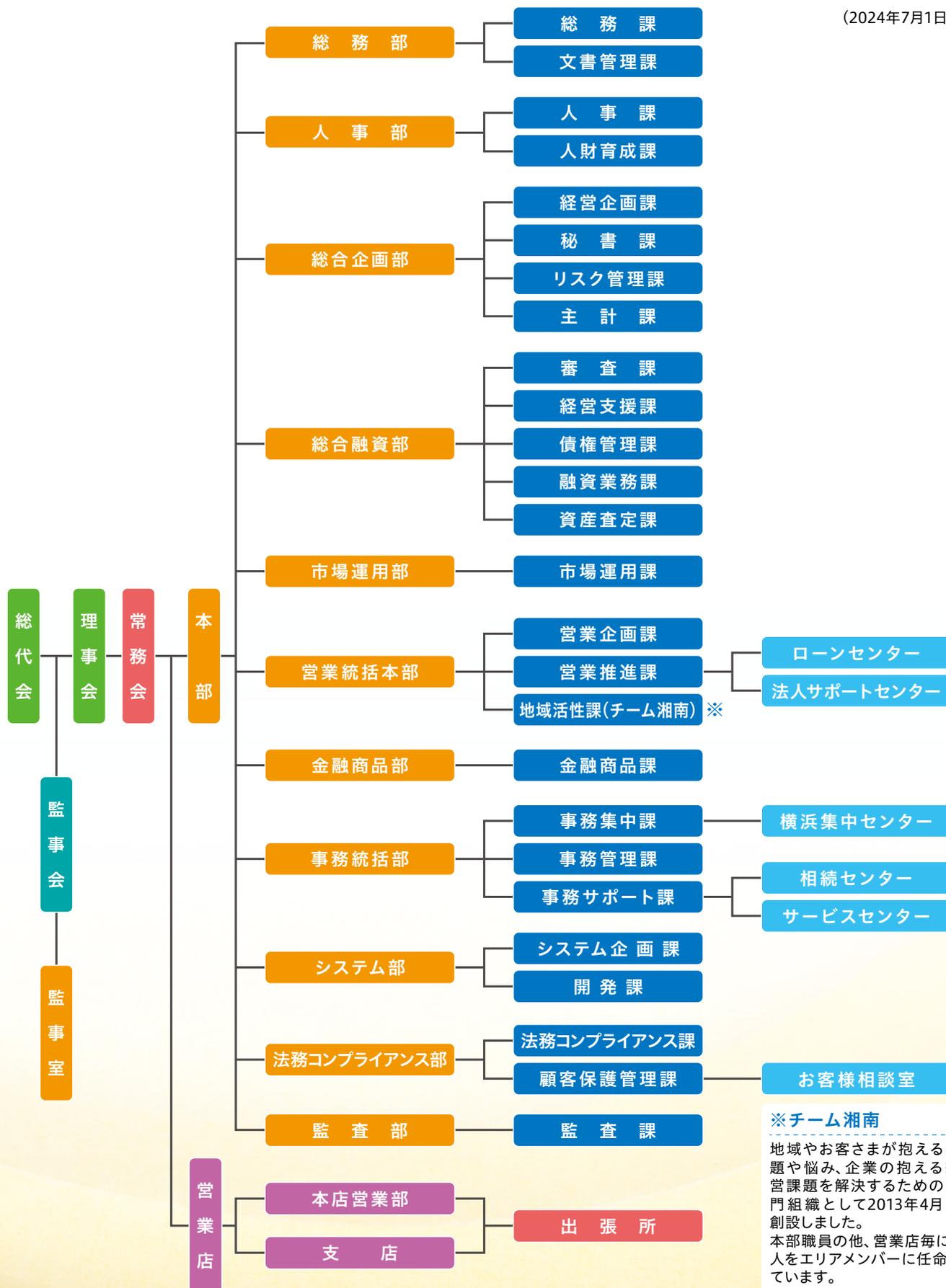


※子会社等の取締役等および使用人を含む

組織

事業の組織図

(2024年7月1日現在)



経営体制

▼ 役員

理事長 (代表理事)	鷲尾 精一	監査部担当
専務理事 (代表理事)	齋藤 篤志	総合融資部担当
専務理事 (代表理事)	二本木 岳彦	市場運用部・営業統括本部(営業企画課・地域活性化課)・金融商品部担当
常務理事 (代表理事)	保要 順一	人事部・総合企画部(リスク管理課・主計課)担当
常務理事	風呂本 将憲	総務部・営業統括本部(営業推進課)担当
常務理事	永井 環	事務統括部・システム部・法務コンプライアンス部担当
常務理事	江良 成可 ^{※1}	総合企画部(経営企画課・秘書課)担当
理事	佃 一男 ^{※1}	
常勤監事	古屋 幹男	
監事	宮部 よしみ ^{※2}	
監事	岸本 寛之 ^{※2}	

※1 信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事

※2 信用金庫法第32条5項に定める員外監事

役員、執行役員・参事、相談役は、2024年6月24日現在です。

▼ 報酬体系

1. 対象役員

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象役員」は、常勤理事および常勤監事をいいます。対象役員に対する報酬等は職務執行の対価として支払う「基本報酬」で構成されています。なお、「賞与」、「退職慰労金」はありません。

(1) 報酬体系の概要

非常勤を含む全役員の基本報酬につきましては、総代会において理事全員および監事全員それぞれの支払総額の最高限度額を決定しています。そのうえで、各理事の基本報酬につきましては役位や在任年数、前年度の業績等をそれぞれ勘案し、当金庫の理事会において決定しています。また、各監事の基本報酬につきましては、監事会の協議により決定しています。

(2) 2023年度における対象役員に対する報酬等の支払総額

区分	支払総額(単位:百万円)
対象役員に対する報酬	88

(注) 1.対象役員に該当する理事は7名、監事は1名です。
2.上記内訳は「基本報酬」のみです。

▼ 執行役員・参事

執行役員	小峰 浩	総合企画部担当
執行役員	戸部 淳	総務部担当
執行役員	高山 士郎	システム部担当
執行役員	石田 貴一	本店営業部担当
執行役員	武藤 晴之	伊勢佐木町支店担当
執行役員	中嶋 孝誌	横浜西口支店・藤棚中央支店担当
執行役員	菅野 敦	茅ヶ崎営業部・茅ヶ崎南口支店担当
執行役員	鶴岡 直文	総合融資部担当
執行役員	片倉 昌幸	鎌倉営業部担当
執行役員	北村 順一	小山支店担当
参事	西山 国男	有限会社 湘南大滝商会 出向

▼ 相談役

相談役	石渡 卓
-----	------

(3) その他

「信用金庫法施行規則第132条第1項第6号等の規定に基づき報酬等に関する事項であって、信用金庫等の業務の運営又は財産の状況に重要な影響を与えるものとして金融庁長官が別に定めるものを定める件」(平成24年3月29日付金融庁告示第22号)第2条第1項第3号・4号および6号に該当する事項はありませんでした。

2. 対象職員等

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象職員等」は、当金庫の非常勤役員、当金庫の職員、当金庫の主要な連結子法人等の役職員であって、対象役員が受ける報酬等と同額以上の報酬等を受ける者のうち、当金庫の業務および財産の状況に重要な影響を与える者をいいます。なお、2023年度において対象職員等に該当する者はありません。

(注) 1.対象職員等には、期中に退任・退職した者を含めています。
2.「主要な連結子法人等」とは、当金庫の連結子法人のうち、当金庫の連結総資産に対して2%以上の資産を有する会社等をいいます。なお、当金庫の主要な連結子法人等の役職員に該当者はありませんでした。
3.「同額」は、2023年度に対象役員に支払った報酬等の平均額としています。
4.「当金庫の業務および財産の状況に重要な影響を与える者」は経営層の意思決定に直接助言しうる職員として「執行役員・参事」を対象として判断しています。

湘南しんきんのあゆみ

大正

13年 3月 有限責任横須賀信用組合創立

昭和

7年 11月	茅ヶ崎信用組合創立	26年 11月	信用金庫法に基づき茅ヶ崎信用金庫に改組
25年 8月	鎌倉市信用組合創立	27年 3月	信用金庫法に基づき鎌倉信用金庫に改組
26年 10月	信用金庫法に基づき横須賀信用金庫に改組	62年 4月	ホールくりはま、ギャラリーくりはまオープン

平成

元年 7月	横須賀信用金庫と鎌倉信用金庫が合併し、湘南信用金庫が誕生	16年 4月	働くお母さんを支援する駅前保育施設「湘南アイルド(逗子)」開園(有限会社 湘南アイルド)
元年 9月	社内報「湘南の風」創刊号発行	16年 10月	本店ローンセンター開設
2年 1月	第1回湘南しんきん友の会旅行を実施	17年 9月	若手経営者の育成を目的に「しょうなん経営塾」を開講
2年 7月	預金量5千億円達成	17年 12月	預金量1兆円を達成
3年 7月	茅ヶ崎信用金庫と合併	19年 1月	新勤定系システムSBOCをスタート
4年 1月	湘南地域独自の経済情報誌「SHONAN 景況レポート」発行	20年 6月	湘南信用金庫第五代理事長に石渡 卓が就任
6年 11月	東京大和信用組合と合併	22年 4月	認知症サポーター全役職員取得
8年 8月	ホームページ開設	24年 1月	学校法人神奈川大学と産学連携協定を締結
9年 11月	イラストレーター鈴木 英人氏と版画使用契約締結	24年 11月	経営革新等支援機関に認定
10年 6月	第1回信用金庫社会貢献賞「特別賞」を受賞(ボランティア出向制度)	25年 3月	各都店に普通救命技能を持つ職員を配置
10年 10月	ギャラリーおおぐちオープン	25年 4月	お客さまの抱える課題・問題を解決することを主の活動目的とする、地域活性化課「チーム湘南」を創設
10年 10月	第53回かながわ・ゆめ国体軟式野球大会で当金庫野球部が全国優勝	26年 3月	金庫創立90周年
10年 12月	投資信託業務窓口販売開始	27年 5月	学校法人関東学院大学と「産学連携に関する協定」を締結
11年 3月	信金業界のトップを切り、全国の郵便局と業務連携、ATMの相互利用を開始	27年 6月	第18回信用金庫社会貢献賞「Face to Face賞」を受賞(久里浜おつかい便「御用聞きプロジェクト」)
11年 5月	ATM365日稼働実施	28年 2月	学校法人鎌倉女子大学と「産学連携に関する協定」を締結
12年 9月	働くお母さんを支援する駅前保育施設「湘南アイルド(茅ヶ崎)」開園(株式会社 湘南悠遊倶楽部)	28年 3月	ライフプランアドバイザー(LA)制度の発足
14年 3月	神奈川県青果信用組合の事業譲受	28年 7月	タブレット端末でペーパーレス会議を開始
14年 6月	インターネットバンキング(湘南ダイレクトサービス)取扱開始	29年 9月	次世代特例認定マーク「プラチナくるみん」認定取得
14年 10月	生命保険窓口販売開始	30年 2月	横浜法人サポートセンター開設
14年 11月	上大岡ローンセンター開設	30年 7月	学校法人横浜商科大学と「産学連携に関する協定」を締結
15年 6月	個人向け国債窓口販売開始	30年 10月	学校法人神奈川歯科大学と「産学連携に関する協定」を締結
15年 11月	法人・事業者向けインターネットバンキング「湘南ビジネスダイレクト」取扱開始	31年 3月	女性職員の制服廃止

令和

元年 5月	「湘南しんきんSDGs宣言」を公表	3年 11月	腰越支店を深沢支店内に移転 藤棚中央支店を横浜西口支店内に移転
元年 6月	本部本館壁面に「SHONAN」ネオン看板設置	3年 11月	湘南法人サポートセンター開設、事務サポート課設置
元年 7月	湘南しんきん誕生30周年	3年 12月	営業店支援システムを導入
元年 9月	出資証券ペーパーレス化(不発行)を実施	4年 4月	100周年記念事業実行委員会設立
元年 10月	「かながわSDGsパートナー」に登録	4年 8月	浦賀支店を馬堀支店内に移転
2年 1月	創立100周年に向けたイメージポスター制作	4年 9月	ローンセンターの営業日変更(土日祝日を休業)
2年 5月	出資会員の優待制度開始	4年 10月	新勤定系システム「OptBAE」へ移行
2年 6月	湘南信用金庫第六代理事長に鷺尾 精一が就任	5年 3月	しんきん口座開設アプリの取扱開始
2年 8月	庫内報「湘南の風」をWEBで配信	5年 4月	ジュニアボード制度を創設
3年 1月	横須賀市の「お土産開発支援事業」が当金庫の推薦で「SCBふるさと応援団」に選出	5年 6月	神奈川県信用保証協会および日本政策金融公庫との「事業承継支援に関する覚書」を締結
3年 2月	逸見支店、池上支店の「窓口営業時間」および「取扱業務」を変更	6年 2月	三崎支店を三浦海岸支店内に移転 茅ヶ崎南口支店を茅ヶ崎営業部内に移転
3年 4月	しんきんバンキングアプリの取扱開始	6年 2月	新横浜法人サポートセンター開設
3年 10月	「通年ノーネクタイ」を実施	6年 3月	金庫創立100周年

事業内容

▼ 金庫の主要な事業の内容

預金業務	当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、譲渡性預金等を取り扱っています。
貸出業務	(貸付) 手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っています。 (手形の割引) 銀行引受手形、商業手形および荷付為替手形等の割引を取り扱っています。
有価証券投資業務	預金の支払準備および資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しています。
内国為替業務	送金為替、当座振込および代金取立等を取り扱っています。
外国為替業務	輸出、輸入および外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っています。
附帯業務	代理業務 日本銀行歳入代理店および国債代理店業務 地方公共団体の公金取扱業務 株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務 信金中央金庫等の代理貸付業務
	保護預りおよび貸金庫業務
	有価証券の貸付
	債務の保証
	金の売買
	公共債の引受
	国債等公共債および証券投資信託の窓口販売
	保険商品の募集業務 (保険業法に基づく保険募集)
	確定拠出年金法により行う業務
電子債権記録機関の委託を受けて行う電子債権記録業に係る業務	

信用金庫と銀行との違い

金融サービスは同じでも、「信用金庫」と「銀行」では経営理念の違いで組織のあり方が異なります。

「信用金庫」は、主な取引先である営業地域内の中小企業や個人が会員となり、互いに地域の繁栄を図る相互扶助を目的とした協同組織の金融機関です。3つのビジョン「地域社会繁栄への奉仕」「中小企業の健全な発展」「豊かな国民生活の実現」を掲げ、株式会社である「銀行」と異なり利益第一主義ではなく、会員すなわち地域社会の利益が優先されます。

さらに、「信用金庫」の営業地域は一定の地域に限定されており、お預かりした資金はその地域の発展に生かされている点も「銀行」と大きく異なります。

比較項目	信用金庫	銀行
根拠法	信用金庫法 (1951・昭和26年)	銀行法 (1981・昭和56年)
特色 (目的と性格)	地域の中小企業ならびに個人のための金融の円滑化を目的とする	不特定多数の企業と個人のための金融業務を行う
経営形態	会員の出資による協同組織の非営利法人 一人一票の原則による民主的経営 (意思決定機関→総会(総代会)、理事会)	株式会社組織 経営政策は株式多数保有者の利益を強く反映し、利益先行性が強い (意思決定機関→株主総会、取締役会)
営業地域	制限あり(定款で定める) 限定された地域を営業基盤とする	制限なし(定めなし) 広域を営業基盤とする
会員資格 (取引対象)	・地区内に住所または居所を置く従業員300人以下 または資本金9億円以下の中小企業または個人 ・地域内で働く個人等	なし
業務範囲	預金の制限なし、融資は原則として会員に限る	制限なし

主な手数料

(税込)

▼ 振込手数料

(2024年7月1日現在)

項目		単位・区分	当金庫同一店舗宛	当金庫他店宛	他金融機関宛
ATM利用	現金扱	3万円以上	330円	330円	660円
		3万円未満	110円	110円	440円
	キャッシュカード扱	3万円以上	無料	220円	550円
		3万円未満	無料	110円	385円
窓口利用	電信扱文書扱	3万円以上	440円	440円	880円
		3万円未満	220円	220円	660円
定額自動送金 ^{※1}		3万円以上	330円	330円	660円
		3万円未満	110円	110円	440円
湘南ダイレクト 個人向けインターネットバンキング		3万円以上	無料	無料	440円
		3万円未満	無料	無料	275円
湘南ビジネスダイレクト 法人事業者向けインターネットバンキング		3万円以上	無料	無料	550円
		3万円未満	無料	無料	330円

※1 定額自動送金は、振込手数料の他に1件ごと毎月110円の取扱手数料がかかります。

▼ 手形・小切手交付手数料

項目		単位・区分	金額
手形・小切手 用紙料金	約手、為手	1冊(25枚)	880円
		1枚	55円
	当座小切手	1冊(50枚)	1,320円
署名鑑印刷	登録料		5,500円
	約手、為手	1冊(25枚)	770円
		1枚	66円
	当座小切手	1冊(50枚)	1,320円
自己宛小切手		1枚	880円

▼ 両替手数料

項目	単位・区分	金額
円貨両替手数料 窓口扱	1～50枚	110円
	51～1,000枚	440円
	1,001～2,000枚	880円
	2,001～3,000枚	1,320円
	以後、1,000枚毎	440円

▼ 金種指定払戻手数料

項目	単位・区分	金額
金種指定払戻手数料	1～50枚	無料
	51～1,000枚	440円
	1,001～2,000枚	880円
	2,001～3,000枚	1,320円
	以後、1,000枚毎	440円

▼ 硬貨取扱手数料

項目	単位・区分	手数料
硬貨取扱手数料	1～500枚	無料
	501～1,000枚	440円
	1,001～2,000枚	880円
	2,001～3,000枚	1,320円
	以後、1,000枚毎	440円

▼ 各種発行手数料

項目	単位・区分	金額
残高証明発行手数料	1通	660円
監査法人等からの 取引確認書発行手数料	1通	1,100円
再発行手数料 (通帳、証書、キャッシュカード等)	1冊・1枚	1,100円

▼ 夜間金庫手数料

項目	単位・区分	金額
夜間金庫月額利用料	1件	8,800円
夜間金庫専用入金票	1冊(50枚)	5,500円
夜間金庫使用袋	1袋	1,100円

▼ 融資関連手数料

項目	単位・区分	金額
貸付用約束手形	1枚	55円
全額繰上返済、一部繰上返済 ^{※2}	1件	5,500円
事業性融資新規取扱手数料	1件	11,000円
融資実行手数料	1件	2,200円
条件変更手数料(金利変更)	1件	5,500円
条件変更手数料(金利変更以外)	1件	3,300円
不動産担保調査手数料 ^{※3}		
設定額5千万円以下	1件	55,000円
設定額5千万円超2億円以下	1件	77,000円
設定額2億円超	1件	110,000円
不動産担保内容変更手数料	1件	11,000円
不動産担保抹消立会手数料	1回	11,000円
不動産担保一部抹消手数料	1件	2,200円

※2 別途繰上返済に関して特約書を差し入れていただいている場合の繰上返済手数料は、その特約書に定められた金額となります。

※3 神奈川県・東京都以外の遠隔地は上記に22,000円加算し、別途交通費、宿泊費等の実費を別途請求します。

▼店舗配置

※●●●●の中の数字は店番を示しています。

(2024年7月8日現在)

横須賀・三浦・逗子地区	① 本店営業部	横須賀市大滝町2-2	⑭ 池上支店	横須賀市池上4-1-4
	② 田浦支店	横須賀市船越町1-45	⑮ 野比支店	横須賀市野比1-8-27
	③ 衣笠支店	横須賀市衣笠栄町1-70	⑯ 逸見支店	横須賀市東逸見町2-81
	④ 追浜支店	横須賀市追浜本町1-1	⑰ 三浦海岸支店	三浦市南下浦町上宮田3115
	⑤ 久里浜支店	横須賀市久里浜4-8-17	⑱ 馬堀支店	横須賀市馬堀町3-2-1
	⑥ 武山支店	横須賀市林1-1-6	⑳ 逗子支店	逗子市逗子1-1-3
	⑬ 北久里浜支店	横須賀市根岸町3-3-8	㉑ 浦賀支店	横須賀市馬堀町3-2-1 (馬堀支店内)
⑭ 岩戸出張所	横須賀市岩戸4-23-10	㉒ 堀ノ内支店	横須賀市三春町3-25	
⑮ 長沢支店	横須賀市グリーンハイツ3-5	㉓ 三崎支店	三浦市南下浦町上宮田3115 (三浦海岸支店内)	
⑯ 鴨居支店	横須賀市鴨居1-10-14	(横須賀・三浦・逗子地区 18店舗・1出張所)		
横浜・東京地区	⑦ 磯子支店	横浜市磯子区中浜町15-13	⑳ 杉田支店	横浜市磯子区杉田1-19-17
	⑧ 保土ヶ谷支店	横浜市保土ヶ谷区和田1-17-3	㉔ 上大岡支店	横浜市港南区上大岡西1-18-3
	⑩ 伊勢佐木町支店	横浜市中区長者町8-134	㉕ 永田支店	横浜市南区永田北3-3-12
	⑪ 大口支店	横浜市神奈川区大口通127-9	㉖ 本郷町支店	横浜市中区山下町112 (元町中華街支店内)
	⑰ 矢向支店	横浜市鶴見区矢向6-12-7	㉗ 元町中華街支店	横浜市中区山下町112
	㉒ 横浜西口支店	横浜市西区南幸2-13-12	㉘ 小山支店	東京都品川区小山4-5-4
	㉓ 能見台支店	横浜市金沢区能見台通7-25	㉙ 本門寺前支店	東京都大田区池上6-3-8
㉔ 戸塚支店	横浜市戸塚区上倉田町498-9	(横浜・東京地区 16店舗)		
㉕ 藤棚中央支店	横浜市西区南幸2-13-12 (横浜西口支店内)			
湘南地区	㉑ 鎌倉営業部	鎌倉市御成町4-13	㉚ 若松町支店	茅ヶ崎市旭が丘2-33
	㉒ 大船支店	鎌倉市大船1-4-1	㉛ 高田支店	茅ヶ崎市鶴が台1-2
	㉓ 腰越支店	鎌倉市常盤82 (深沢支店内)	㉜ 鎌倉駅前支店	鎌倉市御成町11-39
	㉔ 深沢支店	鎌倉市常盤82	㉝ 藤沢支店	藤沢市鵜沼橋1-1-2
	㉕ 茅ヶ崎営業部	茅ヶ崎市新栄町8-4	㉞ 茅ヶ崎南口支店	茅ヶ崎市新栄町8-4 (茅ヶ崎営業部内)
	㉖ 小和田支店	茅ヶ崎市浜竹3-2-32	(湘南地区 12店舗)	
	㉗ 寒川支店	高座郡寒川町岡田1-3-2		

▼店舗外ATM配置

(2024年7月8日現在)

横須賀・三浦・逗子地区	① 横須賀共済病院出張所	横須賀共済病院内	⑪ リヴィンよこすか店出張所	リヴィンよこすか店内
	② モアーズシティ出張所	京急横須賀中央駅西口 モアーズシティ内	⑫ 安浦出張所	京急県立大学駅そば徒歩0分
	③ 横須賀市役所出張所	市役所北口駐車場側入口並び	⑬ 上町出張所	不入斗橋バス停そば
	④ 京急ストアパーク浦郷店出張所	京急ストアパーク浦郷店駐車場内	⑭ 根岸出張所	神奈川県立横須賀工業高等学校そば
	⑤ 京急ストアハイランド店出張所	京急ストアハイランド店隣接	⑮ 南田浦出張所	横須賀基督教社会館並び
	⑥ ローゼン湘南山手出張所	相鉄ローゼン湘南山手店内	⑯ HAYAMA STATION出張所	ショッピングプラザHAYAMA STATION入口
	⑦ 京急ストア芦名店出張所	京急ストア芦名店入口	⑰ Coaska Bayside Stores出張所	Coaska Bayside Stores内
	⑧ 京急ストアパーク北久里浜出張所	京急ストアパーク北久里浜店隣接	⑱ 浦賀出張所	京急浦賀駅から浦賀通りを徒歩3分
	⑨ 京急ストア津久井浜店出張所	京急ストア津久井浜店内	㉑ 京急ストア三崎東岡店出張所	京急ストア三崎東岡店内
	⑩ 東逗子出張所	ヨークマート東逗子店正面入口 (水道道側)		
横浜・東京地区	㉒ 本牧第一福祉センター出張所	本牧ふ頭D突堤 湾港労働者福祉センター1F	㉓ 藤棚中央出張所	京急戸部駅徒歩10分 西前銀座商店街
	㉔ 公田出張所	栄警察署斜め前	㉕ 本郷町出張所	本郷町バス停そば
	㉕ 京急ストア屏風浦店出張所	京急ストア屏風浦店内		
湘南地区	㉖ 富士スーパー鶴嶺店出張所	富士スーパー鶴嶺店駐車場内	㉗ 腰越出張所	フレッシュストア ヤオミネ店内
	㉗ 用田出張所	御所見市民センター前バス停そば	㉘ 茅ヶ崎南口出張所	JR茅ヶ崎駅南口そば



▼ 営業地区

神奈川県	横須賀市、逗子市、三浦市、三浦郡葉山町、横浜市、川崎市、鎌倉市、藤沢市、大和市、茅ヶ崎市、高座郡寒川町、平塚市、海老名市、綾瀬市、厚木市、相模原市（旧津久井郡を除く）、座間市、中郡大磯町、中郡二宮町、足柄上郡中井町、秦野市、伊勢原市、愛甲郡清川村、小田原市、足柄下郡箱根町、足柄下郡湯河原町
東京都	大田区、品川区、目黒区、港区、世田谷区、町田市

「計数編」のご案内

財務状況等のより詳細な情報については、「計数編」を作成しています。「計数編」は、当金庫ホームページにてご覧いただけます。



湘南しんきん

検索



湘南信用金庫 総合企画部

2024年7月発行

〒238-8616 横須賀市大滝町2-2 TEL 046-825-3385

<https://www.shinkin.co.jp/shonan/>

e-mail keiki@shonan-shinkin.jp

マネー・ローndリング対策にご協力を

当金庫は、マネロン対策を経営の重要課題と位置づけ、法務コンプライアンス部を統括部署、その担当役員を責任者として定めるとともに当金庫が直面するリスクを適切に評価し、リスクに応じた対策を実施しています。

